



2019年8月23日

報道関係者各位

九州旅客鉄道株式会社
福岡地所株式会社
株式会社麻生

福岡東総合庁舎敷地有効活用事業の 優先交渉権者に決定！

九州旅客鉄道株式会社(JR九州)を代表企業とし、福岡地所株式会社・株式会社麻生を構成員とする企業グループ(以下「当グループ」という)は、福岡県により実施された「福岡東総合庁舎敷地有効活用事業」に応募し、優先交渉権者として選定されましたのでお知らせいたします。

当グループはいずれも福岡県内に本社を置く企業であり、福岡県の発展及び博多駅東エリアの活性化につながるオフィスビルの開発を提案いたしました。

今後は、本敷地が「博多コネクティッド」エリア内に位置することを踏まえた開発計画の更なる検討や関係機関との協議を行います。

当グループは当該事業を通じ、これからの博多駅周辺のまちづくりに寄与してまいります。

【概要】

1. 所在地
 - ・ 福岡市博多区博多駅東一丁目 218 番 1 及び 219 番(地番)
※「博多コネクティッド」(博多駅から半径約 500m)エリア内
2. 敷地面積
 - ・ 2,638.64 m²
3. 土地所有者
 - ・ 福岡県
4. 企業グループの構成
 - ・ 代表企業 : 九州旅客鉄道株式会社(本社:福岡県福岡市)
 - ・ 構 成 員 : 福岡地所株式会社(本社:福岡県福岡市)
株式会社麻生(本社:福岡県飯塚市)

【主な提案のポイント】

- ・ 長期にわたり安定的な稼働が期待でき、敷地内に入居する新博多県税事務所等との親和性も高いオフィスビルの開発を実施
- ・ 「デンマーク王立図書館」をはじめ世界で多くの実績を持つ建築デザイン事務所「シュミット・ハマー・ラッセン・アーキテクト」(デンマーク)を起用し、博多駅東エリアの再開発の起点となる建築コンセプトを表現
- ・ 敷地周囲の道路と建物との間には十分な公開空地を確保し、心地よい空間を提供
- ・ 内装には福岡県産木材を積極的に活用すると共に、1階エントランス等で福岡県 PR を実施

【スケジュール(予定)】

- ・ 2020年1月 福岡県との基本協定締結
- ・ 2021年4月 現建物解体工事着手
- ・ 2022年3月 新施設建設工事着手
- ・ 2024年3~4月 新施設竣工

【位置図】



【イメージパース】



＜計画概要＞

- ・主な用途: 事務所、店舗、駐車場
- ・構造規模: 鉄骨造 地上 11 階地下 1 階(新博多県税事務所等は 2~3 階に入居予定)
- ・延床面積: 約 18,700 m²

※今後の協議等により変更となる可能性があります